

## 綾瀬市農地利用最適化推進委員応募申込書

令和8年1月30日提出

私は、農地利用最適化推進委員として下記のとおり応募します。

## 1 応募者

ふりがな	あやせ たろう	性 別	男 ・ 女	
氏 名	綾瀬 太郎 (印)	生年月日	昭和 XX 年 XX 月 XX 日(55 歳)	
住 所	〒252-1123 綾瀬市早川〇〇〇番地	電話番号	0 4 6 7 - 7 7 - X X X X	
職 業	農業	勤 務 先	無し	
農業経営の有無	有 無 ※ある場合、以下に記入してください			
農業経営 の状況	経営耕作地及び面積	農業従事者数	年間延べ従事日数	年間農業所得
	耕作地 (綾瀬市)	男 1 人	300/1 日/人	500万円
	田 0 m <sup>2</sup>	女 1 人	240/1 日/人	
	畑 4,955 m <sup>2</sup>	主な作目及び販路等 (該当に○)		
	樹園地 0 m <sup>2</sup>	水稻・麦作・露地野菜 施設野菜 果樹・花卉・温室花卉		
計 4,955 m <sup>2</sup>	その他 ( ) ・ 販路 ( JA 共同販売 )			
担当を希望する地域	第1地区 (落合・中村・上深谷・蓼川・大上・寺尾)			
	第2地区 (小園・早川)			
	第3地区 (吉岡・上土棚)			
認定農業者該当の有無	有 ・ 無	農業委員の応募	有 ・ 無	

## 2 応募の理由

※自身の経歴と応募に至った経緯、綾瀬の農業に対する考え方などを記載してください。

(例-1)
人・農地プランの農業政策が重要視されている。ところが近年特に農業離れが多く、荒廃地、遊休農地は増加の傾向が加速されている。そんな中少しでも荒廃地、遊休農地を無くし田園環境と、農地の保全を大切に考え応募しました。
(例-2)
中立な立場として、綾瀬市の基幹産業である農業の活性化・発展に貢献したく応募しました。

記載しきれない場合裏面を使用してください。

2 応募の理由（続き）

（例－３）

私は今まで農業の経験もあり、また、地域の状況も把握しており、その経験を活かして綾瀬市の農業振興の活性化・発展に貢献できればとの思いがあることから、農地利用最適化推進委員に応募しました。

（例－４）

長年農業に携わってきましたが、近年の農業の担い手の高齢化、担い手不足を日々感じています。

こうした流れを少しでも食い止め、農業への新規参入の促進や、農地の保全に少しでも貢献できればと考え応募しました。